

# 歯科用顕微鏡治療を使った超精密診療で 歯や歯茎、インプラントを健康に

今まで見えなかった歯、歯の根、インプラント、詰め物が大きく、くつきりと見えることで、ワンランク上の歯科診療が実現

テレビやモニター画質で「フルハイビジョン」「4K」あるいは「8K」といった言葉をよく耳にしませんか？これらは、画質の「ハッキリ度」を示す言葉です。最近の画像機器の進歩は凄まじく、何でもハッキリ、くつきりと見えるようになりましたね。

歯科の分野でも歯科用顕微鏡を使った診療で、歯や歯茎、口の中を3〜30倍の倍率でハッキリ、くつきりと超精密に見ることができるようになりました(図1)。専用ライトが治療をしている部位によく届く工夫がされているため、歯や歯茎、インプラントの奥の隅々まで明るく見ることができるようえ、床や天井に固定して

いるため、ブレがないハッキリとした像を見ることが出来ます。また、デジタルカメラが内蔵されており、治療中の画像を使って治療方針を詳細に検討することも可能です。患者様にお見せして、分かりやすく治療の状況をお見せすることも出来ます。

歯科用顕微鏡が最も活躍するのは、第19弾でご紹介した歯の根の治療です(図2-A、B)。従来は、見落としていた根を探し出すことができるようになりました。



図1

▶ 歯科用顕微鏡のイメージ(上)と当院の使用風景(下)。モニター設置位置の変更



図2-A

図2-B

図2-C

▲ 歯科用顕微鏡を使用した治療例  
A 顕微鏡で4つ目の歯根が確認されたところ。通常は見落とされることが多い。  
B 矢印の4つの根にしっかりと薬が詰められている。根の先の病気が治っている。かぶせ物と歯に隙間がない。  
C かぶせ物と自分の歯に全く隙間や段差がなく、ピッタリと合っている。

それ以外にも、隠れた疑わしい虫歯をしっかり診断できます。詰め物やかぶせ物も境目がなくなり、ぴったりと合わせることも出来ます(図2-B、C)。歯石やセメントの取り残しをなくすことにも有効です。手術では、組織と組織をピッタリと合わせることも出来ます。

歯科用顕微鏡治療による超精密診療を受け、お口や歯の健康を増進していただきたいと思えます。ぜひ、専門家に相談下さい。※高度先進医療は保険外診療になることがあります。



医療法人  
くらのうえ市丸歯科  
院長市丸英二先生

長崎大学歯学部大学院卒業後、米国のスタンフォード大学医学部研究員を務める。長崎大学臨床教授、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。